パブリック・コメント手続事務処理要領【様式5】

様式5

中野区パブリック・コメント手続の実施結果

- ◇ 案 件 名 西武新宿線沿線まちづくり整備方針(案)
- ◇ 意見募集期間 平成27年7月21日から平成 27年8月11日まで
- ◇ 提出方法別意見提出者数

提出方法	人 (団体) 数
電子メール	8
ファクシミリ	6
郵送	0
窓口	9

◇ 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方(同趣旨の意見は一括)

『Ⅲ. 地区整備方針』について (2件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	駅前広場の整備は、過大費用を避け、スッキリした実用的なものを計画してもらいたい。	交通広場の整備にあたっては、バス、タクシー、 自家用車の乗降場などの必要な機能を確保し、利 便性の高い交通広場として整備していきます。
2	自然や歴史文化資源を活用したまちづく りについて、詳細に記載していただきたい。	自然や歴史文化資源を活用したまちづくりの 具体的な手法については、各施策の展開に合わせ て検討していきます。

『皿. 地区整備方針 1. 新井薬師前駅周辺地区の整備方針』について (4件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
3	補助第 220 号線の計画については、白紙に戻すべきである。	補助第 220 号線は、区内の南北交通ネットワークや防災面において重要な路線です。また、連続立体交差事業は補助第 220 号線等の交差道路の整備も併せて進めることで大きな整備効果を発揮できると考えています。補助第 220 号線に係る権利者の方々には、今後とも、より丁寧な説明や情報提供をし、理解を得ながら進めていきます。
4	補助第 220 号線の整備により、多くの緑が失われるため、具体的な代替案がなければ「みどり豊かなまちづくり」とは正反対ではないのか。	道路や公園等の整備に合わせた緑化の推進、鉄 道上部空間の活用等により、みどり豊かなまちづ くりを推進していきます。

5	補助第 220 号線の予算を木造家屋の不燃化や耐震化にまわすべきであると考える。	補助第 220 号線は延焼遮断帯として、道路整備に合わせて沿道の不燃化・耐震化を推進するなど上高田地区の防災機能の向上に大きく貢献できるものです。
6	補助第220号線の計画について過去の経緯を明らかにしてほしい。	補助第 220 号線は、昭和 41 年に都市計画決定された都市計画道路です。 23 区内の都市計画道路は、その時々の社会情勢等を踏まえ都市計画道路の事業化計画の策定や必要性の検証を行ってきました。 補助第 220 号線についても、連続立体交差事業による南北の交通ネットワークの形成やまちの防災性の向上等の観点から必要な都市計画道路として、事業化を図ることとしています。

『皿. 地区整備方針 2. 沼袋駅周辺地区の整備方針』について (20件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
7	地区の将来像〈環境〉について、駅前だけでなく、鉄道上部空間や区画街路第4号線沿道でも緑化を検討していただきたい。	鉄道上部空間や区画街路第4号線、交通広場等も含め、地区全体で緑化の推進について検討していきます。
8	「沼袋駅周辺地区まちづくり構想」では、駅前の共同化や再開発等、駅周辺の地区内 道路等(ループ道路)は想定していないため、「整備方針(案)」から削除してもらいたい。	整備方針は、連続立体交差事業と合わせて、都市基盤整備とまちづくりを一体的に進めることによる相乗効果を沿線地域全体のまちづくりへ波及させることなどを目的として作成しました。作成にあたっては、中野区の上位計画等を踏まえたほか、地域における新たなにぎわいの創出や交通基盤の強化、防災性の向上など、区として進める必要のある施策について整理し、とりまとめを行いました。 今後は、この整備方針を基に地域と協働したまちづくりを進めていきます。駅前の街区の再編や地区内道路等の整備については、地域の方々に、より丁寧な説明や情報提供を行い、ご意見を聞き、関係権利者の合意に基づいて具体的な範囲や事業手法について定めるよう検討していきます。
9	現在よりも沼袋駅周辺ににぎわいを作ることのできる根拠を示してもらいたい。また、駅前の街区の再編と商店街の共存を望むため、「にぎわいの一つの核となる商業地等」と修正してもらいたい。	新たな顔となる駅前の拠点空間の創出と、区画 街路第4号線沿道のにぎわいの再生により、沼袋 駅周辺の新たなにぎわいを創出していくことと しています。今後、地域の方々等のご意見をお伺 いしながら、具体的に検討していきます。

10	沼袋駅周辺の再開発地域、ループ道路の 範囲が広すぎるため、再考してほしい。	整備方針では、街区の再編の概ねの範囲を示しています。また、地区内道路等については、その外周という程度の図示にとどまるものです。具体的な範囲や事業手法については、今後、地域の方々等のご意見をお伺いし、理解や合意を得ながら検討していきます。
11	駅前の街区の再編や鉄道上部利用、ループ道路については、区画街路第4号線の整備より先に検討してほしい。	新たなにぎわいの創出に向け、区画街路第4号線沿道のまちづくりのルール等の検討と併せて、駅前の街区再編について検討していきます。区画街路第4号線については、沿道のまちづくりのルール等がまとまり次第、事業化する予定です。
12	にぎわいの感じられる商店街の「再生」 について、実現させるための具体的な方法 を明記してもらいたい。	区画街路第4号線沿道のにぎわいの再生に向けて、区画街路第4号線の整備に合わせた統一感のあるまち並みを形成するためのルールづくりや、残地を活用した沿道の一体的なまちづくりを進めていきます。また、商店街のにぎわいの再生については、商店街の方々等の意向をお伺いしながら、進めていくべきと考えています。
13	区画街路第4号線沿道の用途地域の変更 に伴う地区計画や防災機能の充実を図る具 体的な方針を早急に提示してもらいたい。	区画街路第4号線沿道のまち並みを形成する ためのルールづくりや延焼遮断帯等の機能を確 保するための手法として、地区計画や用途地域の 変更等が考えられます。整備方針策定後に、地域 の方々等のご意見をお伺いしながら、範囲や手法 など具体的に決めていきます。
14	区画街路第4号線の事業を遅らせないために、新たな顔となる駅前の拠点空間の創出と、区画街路第4号線沿道のにぎわいの再生を切り離して行う必要があると考える。	まちづくり整備方針策定後、新たな顔となる駅前の拠点空間の創出や区画街路第4号線沿道のにぎわいの再生について検討を進めていきます。 範囲や手法などについては、地域の方々等のご意見を伺いながら具体的に検討していきますが、街区の再編については、区画街路第4号線の整備の工程に影響を生じさせないよう取り組んでいきます。
15	にぎわいの軸が新青梅街道まで続くのであるのならば、図-13の破線を図一杯延長して記すべき。	区画街路第4号線沿道のにぎわいの再生については、区画街路第4号線の全区間で推進していきます。
16	拡幅後に沿道のにぎわいが再生された事例や、歩行者が対面に渡りやすく、安心して歩くことのできる道路の事例について具体的に教えてもらいたい。	整備方針策定後、まちづくりの各施策について、地域の方々等のご意見をお伺いし、具体的に決めていく段階で、施策に合った事例等も示しながらご説明していく予定です。

17	「沼袋駅周辺地区まちづくり構想」にある通り、区民活動センター周辺について「駅周辺を補完する暮らしを支える機能を持たせる」と明記すべきである。 区画街路第4号線は、事業区間を分け、交通広場を先行して整備してもらいたい。	沼袋区民活動センターについては、支えあいのみならず、防災や環境リサイクル、子育て支援など地域のコミュニティ活動がより一層充実したものとなるよう、その活動の中心となる拠点施設として活用を図っていきます。 区画街路第4号線については、必要に応じ、交通広場を先行し整備を行うことも検討していきます。
19	沼袋駅の駅前広場は、線路跡地を利用すべきである。	駅前周辺に交通広場と一体となったゆとりと 賑わいが感じられる空間を創出するため、交通広 場については、広場内の施設配置や駅施設へのア クセス性などを踏まえ、現在の位置で都市計画決 定しています。
20	沼袋駅は、歩行が不自由な方や周辺施設 を利用する人にとって利便性の高い、まち の顔となる駅舎にしてもらいたい。	地下化される駅については、地域のシンボルと してわかりやすく、利便性が高い駅舎となるよう に西武鉄道等と調整を図っていきます。
21	「沼袋駅周辺地区まちづくり構想」に記載されている「人々が地区内のどの方面にも行きやすい駅及び駅周辺とするため、交通広場に連続した駅舎(駅改札)やコミュニティ広場の創出」を踏まえた整備を推進してもらいたい。	誰もが利用しやすい交通広場を整備するとともに、駅前周辺エリア内に安全で快適な歩行者空間を確保することにより、交通広場と一体となったゆとりと、にぎわいが感じられる空間を創出していきます。
22	区画街路第4号線及び地区集散道路第3号の整備について、「沼袋駅周辺地区まちづくり構想」に記載されている「幹線道路に囲まれた地区内の道路は、時間帯による交通規制などで地区内を通過する自動車を今より減らすことにより、人が最優先のみちを目指します。」という内容を踏まえた整備を推進してもらいたい。	区画街路第4号線等の整備により、歩行者が対面に渡りやすく、安心して歩くことのできる交通環境を目指します。 今後、交通管理者との調整や技術的な検証等を踏まえ、区画街路第4号線等の整備を推進していきます。
23	区画街路第4号線について、無理に短期間で整備するのではなく、事業の完了が遅れても仕方ないと思うので、まず用途地域の変更を行ってもらいたい。	用途地域の変更などのまち並みを形成するルールについては、地域の方々等のご意見をお伺いしながら具体的に決めていくことになります。今後のスケジュールに記載してある通り、区画街路第4号線沿道のまちづくりのルール等がまとまり次第、事業化するよう準備を進めていきます。

24	区画街路第4号線の事業スケジュールを 厳守し、具体的なスケジュールを明示して もらいたい。	区画街路第4号線の整備については、沿道のまちづくりのルールを早期にとりまとめ、平成28年度中の事業認可取得を目指します。具体的なスケジュールについては、今後、沿道のまちづくりについて地域の方々のご意見を伺う際に、合わせてご説明します。
25	区画街路第4号線は、幹線道路の抜け道とせず、公共交通や地区内交通を優先し、また交通規制と道路構造により、安心して歩き、対面する商店街を楽しめる道路としてもらいたい。また、自転車の速度抑制対策もお願いしたい。	区画街路第4号線の整備については、自動車の 速度抑制などの方策を検討し、歩行者が対面に渡 りやすく、安心して歩くことのでき、また、自転 車も安全に走行できる交通環境を創出するよう 検討していきます。
26	新井薬師前駅周辺地区と同様に、沼袋駅 周辺地区について無電柱化をしてほしい。	沼袋の区画街路第4号線等の新設道路については、整備に合わせて無電柱化する予定です。

『Ⅲ. 地区整備方針 3. 鉄道上部空間の活用』について (1 件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
27	西武鉄道の線路跡地はどのように活用するのか。	鉄道上部空間の活用については、連続立体交差 事業で生み出される貴重な空間であり、地域の特性を生かしながら区民が最大限利活用できるよう、整備方針の内容を基に東京都や西武鉄道と調整していきたいと考えています。

『Ⅳ. 施策に対する指標』について (1 件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
28	区画街路の整備による経済効果や生活改善効果等について、具体的な数字を示してもらいたい。	将来像の実現に向けて具体的な施策の達成状況を確認するため、施策に対する指標の案を踏まえ、各施策に合わせて指標を設定し、その推移をみながら事業を進めていく予定です。指標の設定にあたっては、各施策を実施する段階で具体的にお示ししていきます。

その他について (6件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
29	「整備方針」は、まちづくりに関してできるかぎり具体的な内容を含んだ文章で発表してもらいたい。	まちづくりの各施策についての具体的な内容については、整備方針策定後に、関係権利者をは じめとする地域の方々等のご意見をお伺いしな がら進めていきたいと考えています。

30	整備方針に中野区マスタープランに書かれている「区民自らが主体的に取り組むまちづくりをすすめると同時に、中野区は、区の都市整備の根幹に関わる施策について積極的に遂行し行政としての責任を果たすため、中野区自治基本条例などに基づく区民参加、区民意見の反映、区民合意を前提としつつ、行政がリーダーシップを取りながら協働まちづくりをすすめます。」という基本的な姿勢を明記すべきであり、この文言を追加すべきである。	本整備方針は、「中野区都市計画マスタープラン」を上位計画としています。また、策定にあたっては、中野区自治基本条例に基づきパブリック・コメント手続き等を行っています。
31	整備方針の策定に関する、過去の経緯や 資料を住民に公開するべき。	整備方針を策定する背景や目的については、「I. はじめに」に記載しています。その他資料については、ホームページや区民活動センター等で公表しています。
32	各施策を実施するにあたっては、説明会 を開催するなど、今まで以上の情報開示を するべきだと考える。	各施策を進めていく段階に応じて、より丁寧な 説明や情報提供に努めていきます。
33	地区計画の検討について、どのように対象地域住民と進めていくのか整備方針に明記するべき。	まちづくりの各施策を進める上では、地域の 方々等のご協力や関係機関との協議は不可欠な ため、ご意見をお伺いしながら進めていきます。 対象となる地域の範囲や具体的な取り組みにつ いては、今後、お示ししていきます。
34	住民の声を良く聞き、できる限り立退き がないようにしてもらいたい。	都市計画道路の整備について、様々な事業手法 について検討していきますが、やむを得ず移転等 をお願いする場合は、権利者の方々に対して丁寧 な説明をし、ご協力いただくよう努めていきま す。

◇ 提出された意見により修正した箇所 0件